

# 袖ヶ浦市 財政状況

～ 令和7年度下半期における予算の執行状況 ～

令和8年5月1日

袖ヶ浦市 財政部 財政課

## 目 次

I	はじめに	・・・	2 ページ
II	収入及び支出の概況	・・・	3 ページ
III	市民の負担の状況	・・・	7 ページ
IV	公営企業会計の経理の概況	・・・	8 ページ
V	財産、公債及び一時借入金の現在高	・・・	9 ページ

## I はじめに

この書類は、地方自治法第243条の3及び袖ヶ浦市財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、令和7年度予算について、令和8年3月31日現在の収入及び支出の概況、財産、公債の残高の状況等について、公表するために作成したものです。

地方自治法 抜粋  
(財政状況の公表等)

第二百四十三条の三 普通地方公共団体の長は、条例の定めるところにより、毎年二回以上歳入歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金の現在高その他財政に関する事項を住民に公表しなければならない。

### ※表示単位について

- 金額については見やすさ、分かりやすさを重視し、本文中の各表、各グラフについては、それぞれ円単位、千円単位、万円単位のいずれかで表記しています。
- 表記未満の端数については、原則として項目ごとに四捨五入処理しているため、合計額・差引額欄の数値と、各項目数値の合計・差引きが一致しない場合があります。

## Ⅱ 収入及び支出の概況

### 1 一般会計及び特別会計

#### (1) 予算の状況

令和8年3月31日現在の一般会計と特別会計における令和7年度予算額は次のとおりです。

会 計 名	当初予算額	補正予算額	予算現額
一 般 会 計	301億9,000万円	25億8,936万円	327億7,936万円
特 別 会 計	121億3,300万円	5億7,103万円	127億403万円
国 民 健 康 保 険	59億7,300万円	4億3,235万円	64億535万円
後 期 高 齢 者 医 療	9億4,900万円	7,684万円	10億2,584万円
介 護 保 険	52億1,100万円	6,183万円	52億7,283万円

一般会計・・・ 地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

特別会計・・・ 特定の目的のために設けられた会計をいいます。袖ヶ浦市では3会計が法律または条例で設置されています。

補正予算・・・ 予算の編成後に生じた理由によって、既決予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立します。

## (2) 歳入歳出の執行状況等

### 【一般会計】

令和7年度の一般会計予算は、301億9,000万円で成立後、9回の補正予算を組み、定額減税補足給付金事業などを含む25億8,936万円を増額して、総額を327億7,936万円とし、当初予算から約8.6%の増となりました。

令和8年3月31日における執行状況は、収入済額で291億9,537万円、予算に対する収入割合で89.1%、支出済額で283億8,863万円、予算に対する支出割合で86.6%となっています。

なお、令和7年度予算の収入・支出は、出納整理のため令和8年5月31日まで引き続き行われます。

### <主な補正内容>

一般会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

#### ○補正増

財政調整基金積立金	4億3,017万円増
食料品等物価高騰生活応援給付金事業	3億7,122万円増
児童手当支給事業	2億3,181万円増
定額減税補足給付金事業	2億2,965万円増
物価高対応子育て応援手当支給事業	2億2,631万円増

#### ○補正減

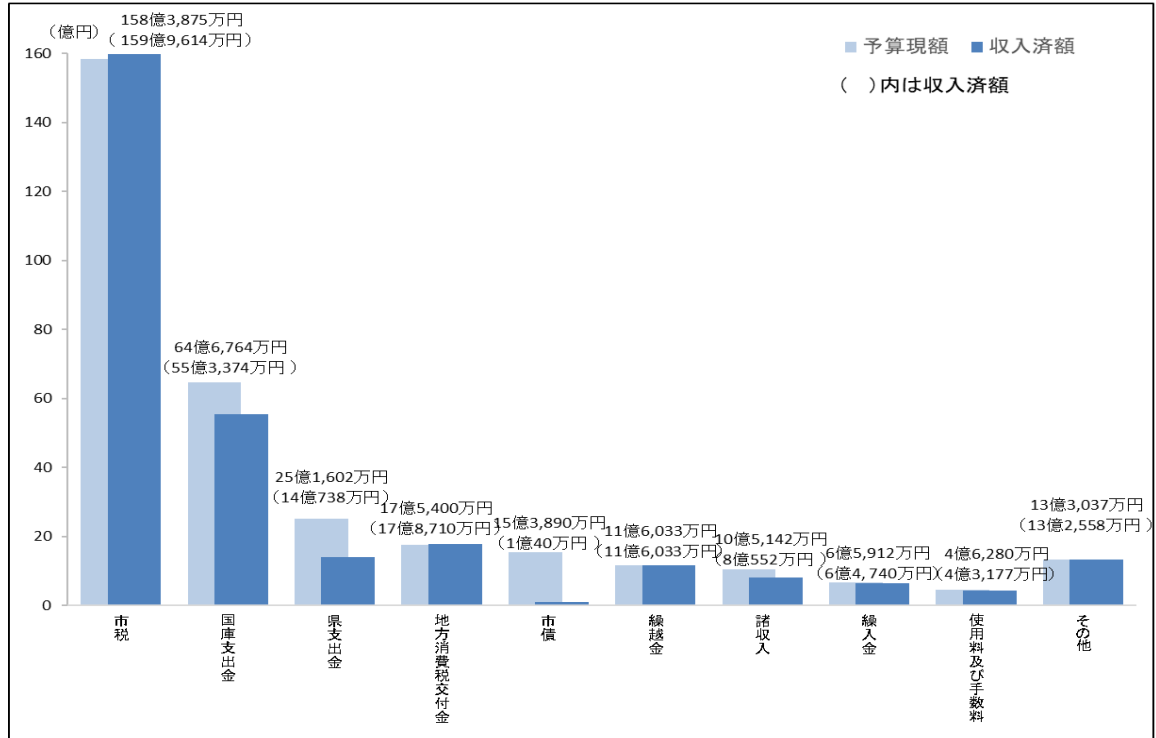
放課後児童クラブ施設整備事業	1億2,472万円減
私立保育施設等整備助成事業	5,972万円減
地域型保育給付事業	5,836万円減
介護保険サービス事業所整備事業	5,741万円減
昭和中学校校舎増築事業【継続費】	5,729万円減

<執行状況>

歳入

予算現額 327億7,936万円 収入済額 291億9,537万円

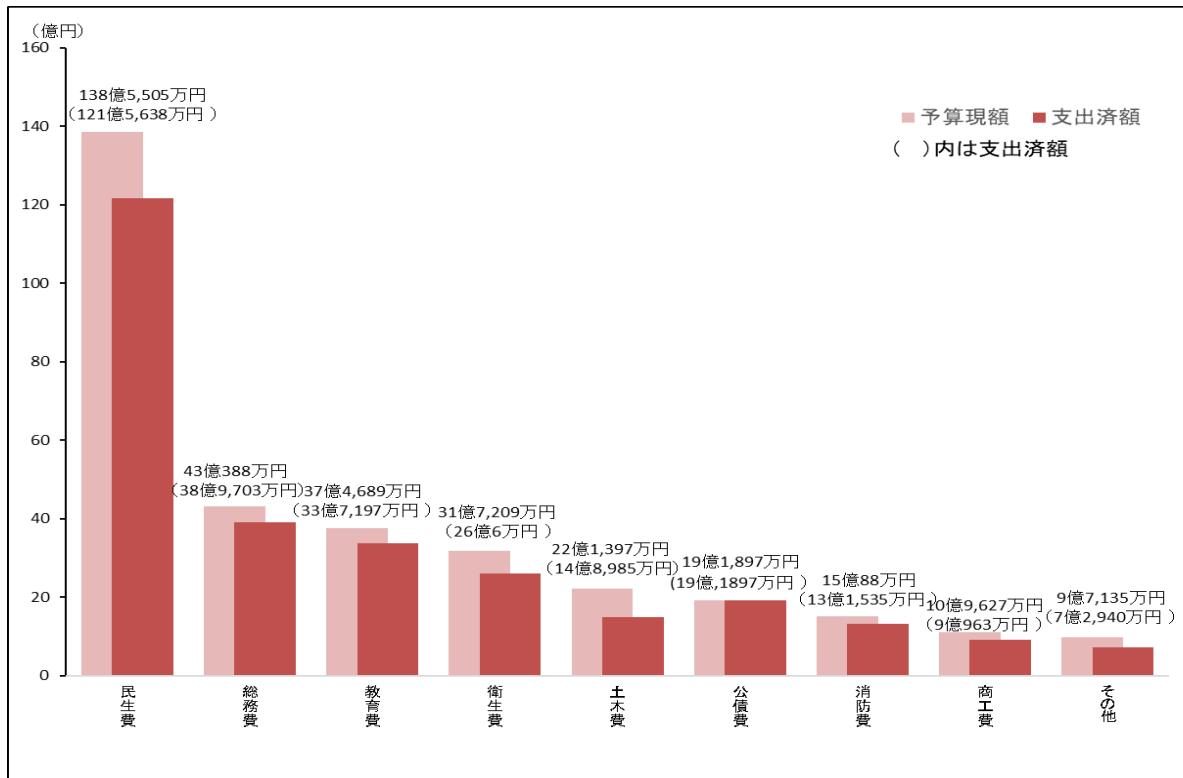
収入率 89.1%



歳出

予算現額 327億7,936万円 支出済額 283億8,863万円

執行率 86.6%



## 【特別会計】

3つの特別会計の総予算は、当初121億3,300万円で成立後、補正予算で5億7,103万円の増額を行い、予算現額は127億403万円となっています。

各特別会計の令和8年3月31日における執行状況等は、次のとおりです。

### <執行状況>

特別会計	予算現額	収入済額 (収入割合)	支出済額 (支出割合)
国民健康保険	64億535万円	56億4,575万円 (88.1%)	57億8,838万円 (90.4%)
後期高齢者医療	10億2,584万円	10億1,425万円 (98.9%)	10億913万円 (98.4%)
介護保険	52億7,283万円	47億9,297万円 (90.9%)	46億225万円 (87.3%)

### <主な補正内容>

特別会計補正予算で行った主な事業は、次のとおりです。

#### ○国民健康保険特別会計

一般被保険者療養給付費	3億1,880万円増
国保財政調整基金積立金	1,451万円減

#### ○後期高齢者医療保険特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金	6,501万円増
後期高齢者医療事務費	12万円減

#### ○介護保険特別会計

介護給付費国庫支出金等返還金	4,601万円増
特定入所者介護サービス費	1,700万円減

### Ⅲ 市民の負担の状況

市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の48.3%を占めています。令和8年3月31日現在の予算額で見ますと、市税の予算現額は158億3,875万円となっています。これを令和8年3月31日現在の住基人口及び世帯数で割りますと、市民1人あたり239,927円、1世帯あたり520,361円の負担となります。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
市民税	54億6,079万円	34.5	82,720円	179,407円
固定資産税	90億1,872万円	56.9	136,616円	296,298円
軽自動車税	2億2,397万円	1.4	3,393円	7,358円
市たばこ税	5億2,000万円	3.3	7,877円	17,084円
都市計画税	5億9,927万円	3.8	9,078円	19,688円
入湯税	1,600万円	0.1	242円	526円
合 計	158億3,875万円	100.0	239,927円	520,361円
総人口	66,015 人		(令和8年3月31日現在)	
世帯数	30,438 世帯			

また、歳出予算における目的別経費で見ますと、歳出合計の市民1人あたりの金額は496,544円、1世帯あたり1,076,922円となっています。なお、目的別経費と市税負担額の差額は、国庫支出金や市債等の市税以外の歳入で対応しています。

区 分	予算現額	構成比%	予算現額負担状況	
			1人当たり	1世帯当たり
民生費	138億5,505万円	42.3	209,877円	455,189円
総務費	43億388万円	13.1	65,196円	141,398円
教育費	37億4,689万円	11.4	56,758円	123,099円
衛生費	31億7,209万円	9.7	48,051円	104,215円
土木費	22億1,397万円	6.8	33,537円	72,737円
公債費	19億1,897万円	5.9	29,069円	63,045円
消防費	15億88万円	4.6	22,735円	49,309円
商工費	10億9,627万円	3.3	16,606円	36,017円
農林水産業費	6億1,668万円	1.9	9,342円	20,260円
その他	3億5,467万円	1.1	5,373円	11,652円
合 計	327億7,936万円	100.0	496,544円	1,076,922円
総人口	66,015 人		(令和8年3月31日現在)	
世帯数	30,438 世帯			

## IV 公営企業会計の経理の概況

### 【下水道事業会計】

#### (1) 予算の状況

令和8年3月31日現在の下水道事業会計における令和7年度予算額は次のとおりです。

会計名		当初予算額	補正予算額	予算現額
下水道事業会計	収入	21億7,263万円	▲3,339万円	21億3,925万円
	支出	24億7,878万円	▲1,706万円	24億6,172万円
収益的収支	収入	16億8,353万円	1,617万円	16億9,969万円
	支出	15億6,529万円	3,361万円	15億9,890万円
資本的収支	収入	4億8,911万円	▲4,955万円	4億3,955万円
	支出	9億1,349万円	▲5,067万円	8億6,282万円

#### (2) 歳入歳出の執行状況

下水道事業会計の予算執行状況は次のとおりです。

なお、表に使われている収益的収支とは、経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

区分		予算現額	収入・支出済額 (収入・支出割合)
収益的収支	収入	16億9,969万円	16億9,518万円 (99.7%)
	支出	15億9,890万円	15億249万円 (94.0%)
資本的収支	収入	4億3,955万円	3億730万円 (69.9%)
	支出	8億6,282万円	7億5,884万円 (87.9%)

## V 財産、公債及び一時借入金の現在高

### (1) 財産の状況

市が所有している土地、建物、車両の状況は次のとおりです。

区 分	面 積 ・ 台 数
土 地	2,577,971㎡
建 物	196,721㎡
車 両	169台

### (2) 基金の状況

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。その中で「財政調整基金」とは、不況による大幅な税収減や災害の発生による思わぬ支出など、予期できない収入減少や支出増加に対応するため、余裕のある年度に資金を積み立て、資金が不足する年度に取り崩して、財源に充てるものです。

基 金 の 種 類	基 金 残 高
一 般 会 計	55億5,191万円
財政調整基金	31億7,443万円
その他基金	23億7,748万円
特 別 会 計	5億5,983万円
合 計	61億1,175万円

### (3) 市債及び一時借入金の状況

学校、公園、道路など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・銀行などから資金の長期借入をしますが、この借入を市債（公債）といいます。整備した施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、インフラや公共施設の早急な整備が可能となります。

会 計	市 債 残 高
一 般 会 計	157億5,934万円
下 水 道 事 業 会 計	44億2,619万円

また、会計年度において歳計現金に不足を生ずる場合に金融機関等からの借り入れを行う一時借入金残高はありません。